

中国ブロック一斉宣伝 首相指名選挙に枝野幸男代表への投票を報告

9月18日は、中国ブロック一斉宣伝の日であり、日本共産党東部地区委員会は、京橋で宣伝を行いました。

司会を務めた吉儀敬子市議は、16日の首相指名選挙に日本共産党も含め、野党がそろって立憲民主党の枝野幸男代表に投票したことを報告。安倍政権を引き継ぐ菅政権に代わる政権誕生のため、総選挙の共闘が大きな意義を持つことを強調しました。



尾村利成県議を先頭に訴える市議・市議予定候補

尾村利成県議は、「自助・共助・公助」を強調する菅政権に未来はない。政治を変えるチャンスは総選挙で、野党共闘を大切にしよう。日本共産党へへの支援を訴えました。

来年度の市議選の予定候補である舟木けんじ・橘ふみ氏も参加し、代表して舟木けんじ予定候補が、父親を介護した経験から松江市に福祉の要求を届け、原発のない松江市のために議会でも働く決意を述べました。

最後に田中肇市議が、島根原発2号機の再稼働・3号機の新たな稼働を許さないために、引き続き市政の場で頑張ることを述べました。

市民と共に歩んで



私の二つの原点 舟木健治

とができるのかを学ばせてくれたのが日本共産党でした。

教員としての原点

入党の原点
入党の原点は、土木関係の労働者だった父の働く姿です。工事現場に泊まり込んでの働きづくめ。しかし母はいつもお金の心配ばかり。大学に入り、どうしてこういう世の中ができてくるのか。どうしたらこの世の中を変えていくこ

教員生活と組合活動ではど
の子にも光の当たる教育を、願いを尽くしてきました。初任の頃のことです。「〇〇ちゃんが給食食べたくないって言うてるよ」と教えてくれるので、わけを聞こうとそ

子に近づくと教室を飛び出します。後を追いかけて泣きながら、膝を抱えて泣きながら「お家の人がお金がなくて大変と話していた」「自分が給食を食べなければお金の負担を軽減する」と話してくれました。お金の心配なく学べる社会にしなければ、このことは自分の原点になりました。

コロナ危機で「貧困と格差」がますます広がる今だからこそ、市民誰にも光のあたる市政が必要と考え、来春予定の市議選の立候補を決意しました。命とくらし最優先の政治へ転換するため全力でがんばります。

島根原発の防波壁 規制委の指摘で設計方針見直し

田中はじめ市議の一般質問②

田中はじめ市議は9月8日の一般質問で、島根原発の防波壁設計変更問題について執行部の見解を質しました。

この問題は、規制委から、「津波に対する防波壁の設計方針が成立していない」との指摘を受け、中国電力が8月20日の適合性審査会で、防波壁の設計方針の変更を規制委に説明したものです。

田中市議は、「規制庁の審査官が、『規制庁から指摘されて計算してみたら、防波壁の設計方針が成立していないか』と大変厳しい指摘をしている。この問題を執行部はどう認識しているか」と質しました。

これに対し、永田明夫防衛安全部長は、「これまで規制委員会の厳格な審査の中で様々な指摘がされている。中国電力は指摘に適切に対応していただきたいと考える」と回答しました。

さらに田中市議は、「規制庁の審査官が気付いたから表面化したが、サイトバンカ点検虚偽報告等の不祥事に加え、適合性審査でも厳しい指摘を受ける中国電力に原子力発電所の運営を任せられない。見解を伺う」と質しました。

これに対し、松浦正敬市長は、「サイトバンカ建物の巡視未実施問題については、8月31日に中国電力が発表した調査報告書の内容について、県と共に立ち入り調査をし、具体的かつ効果的な再発防止策が策定されているかどうか、十分確認する。また、規制委にも厳正な指導を行ってほしい。」と回答しました。



田中 肇
市議会議員

膨大な費用つぎ込む再処理事業核燃料サイクルは破綻している

橋 祥朗市議の一般質問②

「核燃料サイクル事業」について橋祥朗市議は、「原子力規制委員会は、日本原燃の再処理工場(青森県六ヶ所村)について安全審査の合格を決め、稼働は2021年度以降とした。しかし、再処理工場の建設費は7600億円から増え続け、総事業費は14兆円、別途にMOX燃料加工工場に2・3兆円と報道されている」

「プルトニウムを取り出す再処理は原発以上に危険で、工場が完成しても、プルトニウムを燃料とする高



橋 祥朗
市議会議員

速増殖炉『もんじゅ』は廃炉、MOX燃料を使うプルサーマル発電も低迷しており、核燃料サイクル事業は行き詰まっている」と、市長の見解を求めました。

松浦正敬市長は「原発はしばらくは必要、安全を最優先に再処理工場の完成に取り組んでほしい。また、玄海原発でMOX燃料は使用されている」など答弁しました。